

ふるさと未来講座「経済・産業」福井①

「なぜ働いていると本が読めなくなるのか ー読書の歴史と未来ー」

日 時：9月7日（日）14：00～15：30

講 師：文芸評論家

三 宅 香 帆 氏

会 場：福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい） 多目的ホール



本講座では、これまでの読書の歴史をもとにした、労働と読書の関わりやノイズ（自分の知りたいことの背景文脈や周辺知識）の重要性について大変わかりやすくお話しいただきました。また、ノイズを取り入れるためには、『全身全霊』ではない『半身』の働き方が必要であること、仕事以外の文脈を自分の生活に取り入れることを、具体例を示して解説してくださいました。

参加された方々からは、「『知識は情報ノイズである』という考え方を忘れず、生活の中で本を読むときや、他者とのコミュニケーションで活用していきたいです」「労働史とのリンクが興味深く、ノイズの大切さを実感しました」「『なぜ働いていると本を読めなくなるのか』は一度読みましたが、対面でお話ししていただいて、読んだ時とはまた違う気づきがありました」「働いている中で読書の難しさを言語化して説明してくださり、自分の現在の本を読めない生活の原因を知ることができて良かったです」などの感想が寄せられました。